

## 「議員と語ろう会」

卯目ひろみ

福井県猟友会 芦原支部・金津支部

吉村会長から「熊対策について」の現状や「狩猟、有害捕獲、緊急銃猟」のお話を聞いて、私自身知らないことが多く、短い時間ではあったがいろいろ知れたこと、とてもよかったと思っている。

「熊は山の中に住んでいて、いわゆる、イノシシ・ハクビシン・アライグマなどとは完全に一線を画すもの」と思い込んでいたが、実際にはそれ程の差がなく、もっとずっと以前から、エサを求めて出没していたと聞く。熊は猫の仲間である。最近熊が増えるにつれ、里に降りる、町中に現われることが言いすぎではなく、半ば当たり前になっていることにも驚ろかされた。

会員の方達からは、もし人に当たった場合は本人の責任になることから、町中では簡単に猟銃が使えない。周辺に何も無いこと、人がいないことなど制約されることも多く、駆除することは簡単ではない。銃を使うことは警察官が判断する。また電気柵はイノシシなどと同じに使えるので、柵の強化を図りたい。

ジビエとしては売り先などが限られていて、儲けるまではいかず、なかなか手が出ない。

熊は木の実を好み、特に甘柿が好きらしい。私が以前テレビ番組で見たものであるが、空家になった庭にあんずの木がある場所にカメラをつけたら、入れかわり、立ちかわり、熊が現われ、実を食べている様子が写っていたが、柿の実などは、早目に収穫することが大事であると話されていた。

猟友会のメンバーの高齢化の問題、後継者の問題もある。